

2019年2月期 第1四半期

## 決算説明資料

2018年7月12日

### 古野電気株式会社

#### 注意事項：

本資料に記載されている内容は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、当資料の数値表記は、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表に記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率その他の数値は、四捨五入により表示しております。

## ◆ 売上：増収

一部地域を除き全世界的に船用事業の売上が伸長、通信・GNSSソリューション事業好調により増収。

## ◆ 利益：増益

売上増に加えて生産効率改善、価格戦略の見直し、製品構成の変化、為替影響等により売上総利益率が大幅に向上。

## ◆ 業績予想：上方修正

上記の動向を踏まえ、今年4月16日に公表した2019年2月期第2四半期累計期間の業績予想および2019年2月期通期連結業績予想を上方修正。

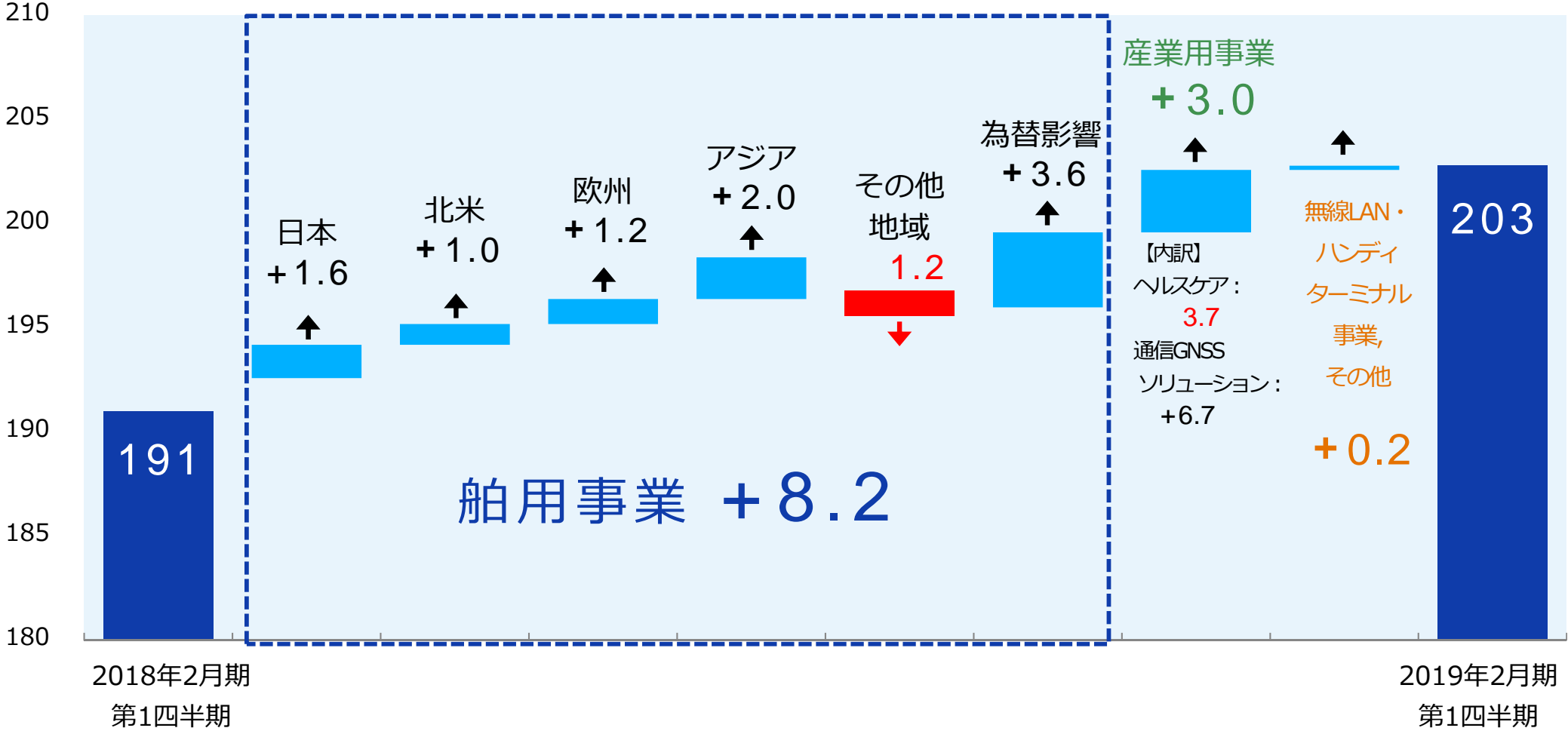
# 2019年2月期 第1四半期 連結決算概況

**FURUNO**

(単位：百万円)	2018年2月期 第1四半期	2019年2月期 第1四半期	増減比（額）	増減比（率）
<b>売上高</b>	19,169	20,313	+1,154	+6.0%
<b>売上総利益</b> (対売上高比率)	6,669 (34.8%)	8,774 (43.2%)	+2,106 (+8.4)	+31.6%
<b>営業利益</b> (対売上高比率)	444 (2.3%)	2,183 (10.7%)	+1,653 (+8.4)	+390.8%
<b>経常利益</b> (対売上高比率)	249 (1.3%)	2,202 (10.8%)	+1,867 (+9.5)	+781.6%
<b>親会社株主に帰属 する四半期純利益</b> (対売上高比率)	101 (0.5%)	1,869 (9.2%)	+1,685 (+8.7)	—
<b>研究開発費</b> (対売上高比率)	956 (5.0%)	1,125 (5.5%)	+169 (+0.6)	+17.7%
<b>設備投資額</b> (対売上高比率)	924 (4.8%)	702 (3.5%)	▲222 (▲1.4)	▲24.0%
<b>減価償却費</b> (対売上高比率)	754 (3.9%)	715 (3.5%)	▲39 (▲0.4)	▲5.2%
(単位：円、期中平均レート)				
<b>為替（対ドル）</b>	114	110	▲4	▲3.1%
<b>為替（対ユーロ）</b>	121	133	+12	+10.1%

# 売上高の増減分析

(単位：億円)



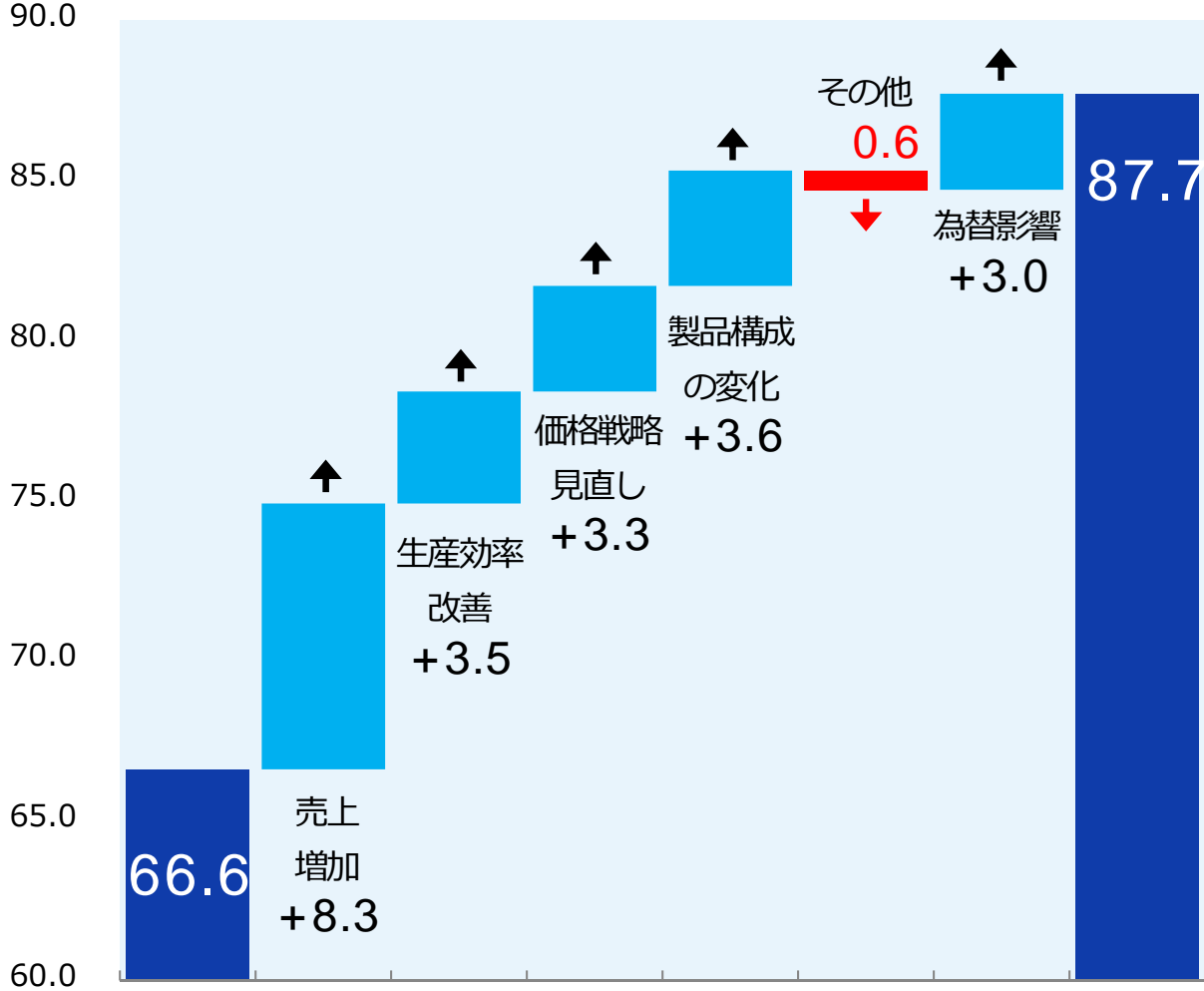
- その他地域を除く全地域で船用事業が増収
- 為替がプラス方向に影響
- 通信・GNSSソリューション事業が増収

※ 為替感応度 (2018年2月期実績値)  
 【ドル】売上高1.1億円、営業利益0.5億円  
 【ユーロ】売上高1.4億円、営業利益0.7億円

# 利益の増減分析

## 売上総利益の増減分析

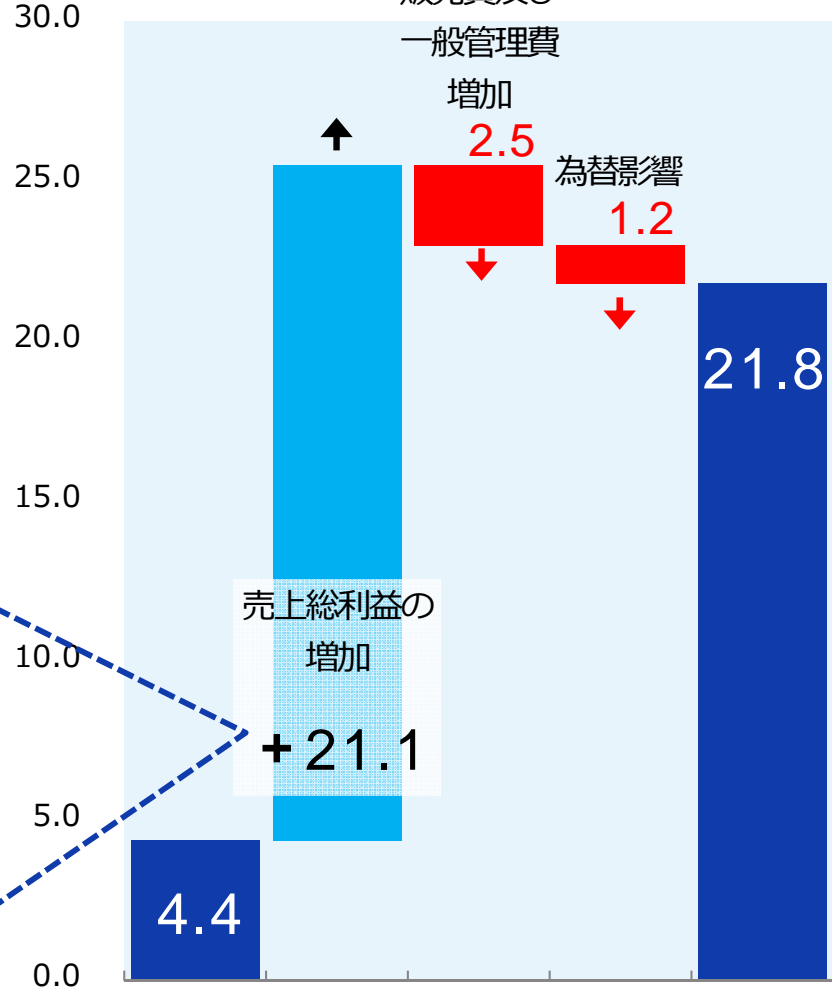
(単位：億円)



売上総利益 + 21.1 億円

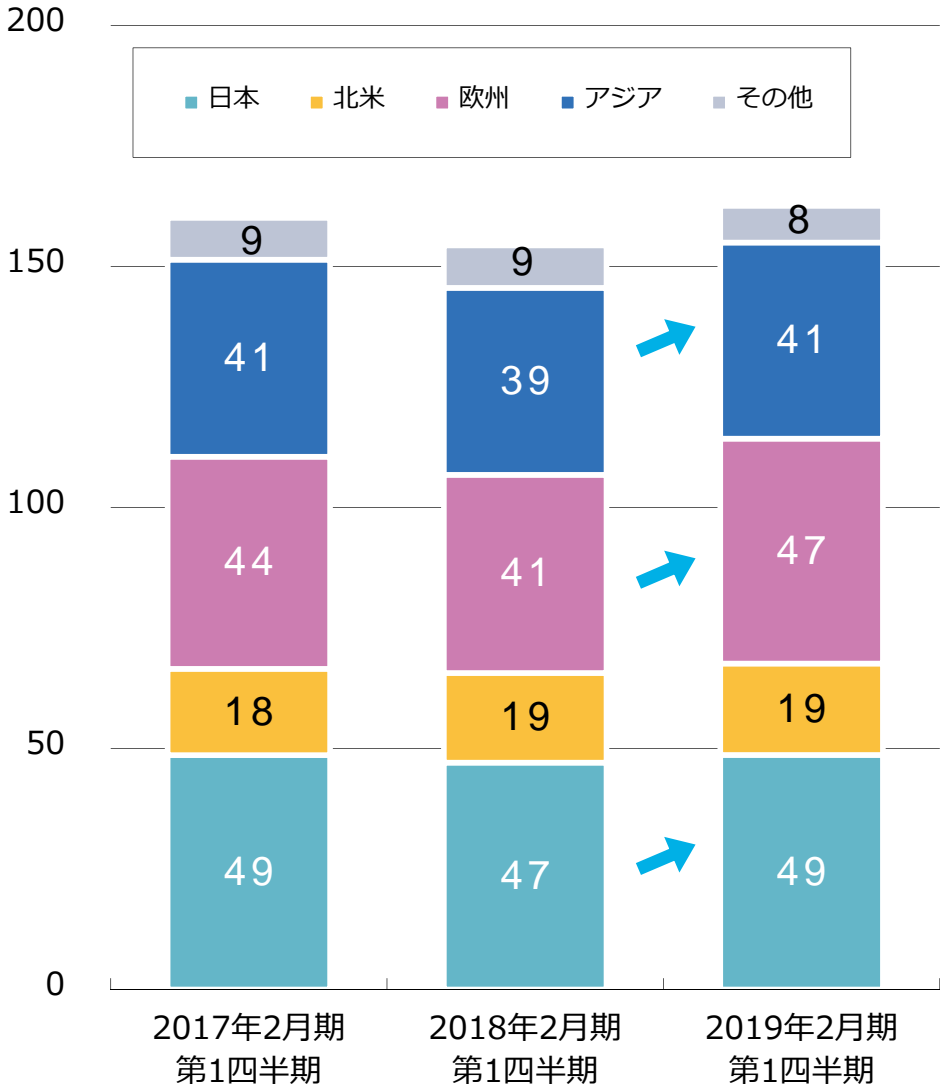
## 営業利益の増減分析

(単位：億円)



船用事業・連結売上高  
(累計・地域別)

(単位：億円)



船用事業：増収増益

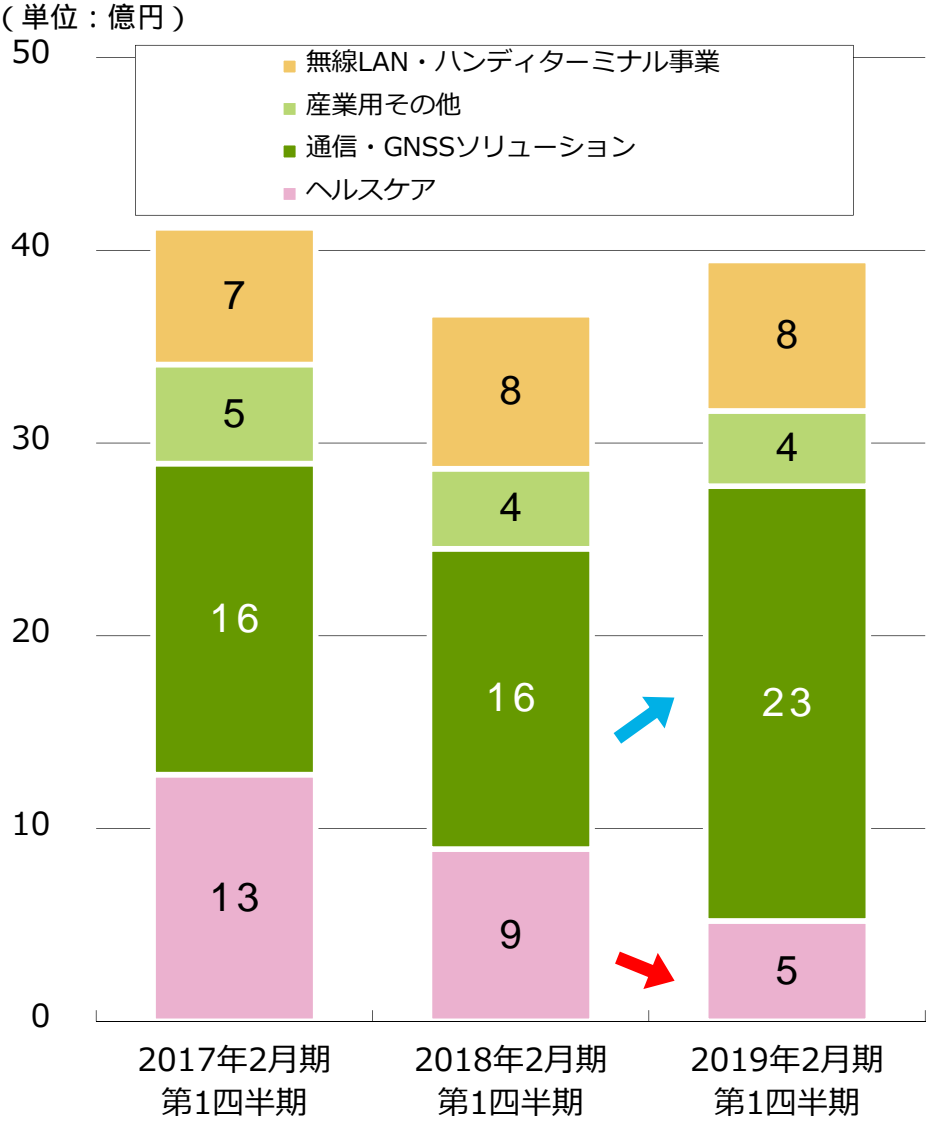
売上高 162億円 (前年同期比 +5.3%)

セグメント利益 17.7億円 (+15.9億円)

その他地域を除き全地域で増収。  
売上増に加えて生産効率改善や  
為替影響等により大幅増益。

- ◆日本：売上高 49億円 (+3.3%)
  - 商船向け増収、漁業向け減収
- ◆北米：売上高 19億円 (+2.0%)
  - 漁業向け減収、小型商品増収
- ◆欧州：売上高 47億円 (+13.5%)
  - 商船向け、漁業向け増収、為替影響もプラスに作用
- ◆アジア：売上高 41億円 (+4.9%)
  - 商船向け、漁業向けで増収

## 産業用事業、無線LAN・アクセスポイント事業 連結売上高（累計・製品群別）



### 産業用事業：増収増益

売上高 31億円 (前年同期比 +10.5%)

セグメント利益 3.4億円 (+1.9億円)

⇒ **ヘルスケア事業減収も通信・GNSSソリューション事業増収。**

**売上増に加えて生産効率改善や製品構成変化等により増益。**

◆ヘルスケア事業：売上高 5.2億円 ( 41.7%)

➤ 大型の生化学自動分析装置の売上が減少

◆通信・GNSSソリューション事業：

売上高 22.5億円 (+44.8%)

➤ 受託事業や周波数発生装置などの売上が増加

### 無線LAN・ハンディターミナル事業：減収減益

売上高 7.8億円 (前年同期比 ▲2.3%)

セグメント利益 0.6億円 ( 0.5億円)

**無線LANアクセスポイント好調もハンディターミナルの売上減少。**

# 2019年2月期 連結業績予想の修正について

**FURUNO**

前回予想 (2018年4月16日発表)      今回予想 (2018年7月12日発表)

(単位：百万円)	2018年2月期 実績	2019年2月期 予想	2019年2月期 予想	増減比（額）	増減比（率）
<b>売上高</b>	79,050	79,000	82,000	+3,000	+3.8%
<b>営業利益</b>	1,992	2,200	4,000	+1,800	+81.8%
(対売上高比率)	( 2.5% )	( 2.8% )	( 4.9% )	( +2.1 )	
<b>経常利益</b>	1,857	2,000	4,000	+2,000	+100.0%
(対売上高比率)	( 2.3% )	( 92.5% )	( 4.9% )	( +2.3 )	
<b>親会社株主に帰属 する当期純利益</b>	1,236	1,500	3,000	+1,500	+100.0%
(対売上高比率)	( 1.6% )	( 1.9% )	( 3.7% )	( +1.8 )	

売上増加要因：商船向け及び漁船向けで増収見込み  
 営業利益増加要因：売上増加及び生産効率改善効果



# トピックス

## 中国での合弁会社設立に関する契約を締結

当社は今年5月、世界最大の海上輸送能力を保有する中国遠洋海運集团有限公司（COSCO SHIPPING）のグループ会社、中遠海運科技股份有限公司（CS Tech）、株式会社平成商事との間で、合弁会社設立に関する契約を締結しました。

3社で設立した合弁会社は今後、中国での内外航船舶、河川運航船舶を対象とする船用機器の販売やサービス事業を段階的に推進するとともに、安全安心かつ効率的な船舶の運航に関わる将来研究に取り組むことを検討する方針です。



◆5月に行った合弁会社設立に関する調印式の様子

## 新しい航海支援における研究開発

当社は、安全・安心かつ効率的な航海の実現に貢献すべく、当社独自の操船支援ソリューションの研究開発に取り組んでいます。

今年4月に東京で開催された国際海事展「SEA JAPAN 2018」（シージャパン2018）では、4K画質の高精細な大型スクリーン上に電子海図を表示した上で、タッチスクリーン操作で航海計画を作成するプランニングターミナル（航海計画作成支援システム）や、船上に設置したカメラの撮影映像に他船の航海情報などをAR（Augmented Reality）技術で重畳表示して、乗組員の操船や見張り業務を視覚的に支援するARナビゲーションシステム、船内における主要航海機器の遠隔監視を実現するタブレットソリューションなどのコンセプトを紹介しました。



◆国際海事展（SEA JAPAN 2018）の当社出展ブース

## ミャンマーの優秀な学生に「フルノ賞」を授与

今年5月、ミャンマー海事大学の卒業式が開催され、航海学科の首席卒業生に「フルノ賞」を授与しました。

ミャンマー海事大学は、世界有数の船員供給国ミャンマーで2002年に設立された海洋科学全般を対象とする教育機関であり、船員養成学科のほか、造船工学、機関工学、航海学などの学科で構成されています。同大学の各学科では、首席卒業生を対象に世界各国の企業による表彰制度が設けられており、当社は2015年度より航海学科の首席卒業生の表彰を担っています。

首席卒業生には、記念盾などの副賞を贈与。また、同大学の学長推薦者に対し、インターンシップの受け入れを行っています。



◆「フルノ賞」受賞者と飴谷樹徳・船用機器事業部国際部長

# 補足. フルノグループの事業概要

古野電気は1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、船用電子機器分野において、その独自の超音波技術と電子技術をもとに数々の世界初・日本初の商品を提供し続けてきました。そして今日、世界80カ国以上に販売拠点を有し、世界規模の船用電子機器総合メーカーとして確固たる地位とブランドを築いてきました。

2018年2月28日現在



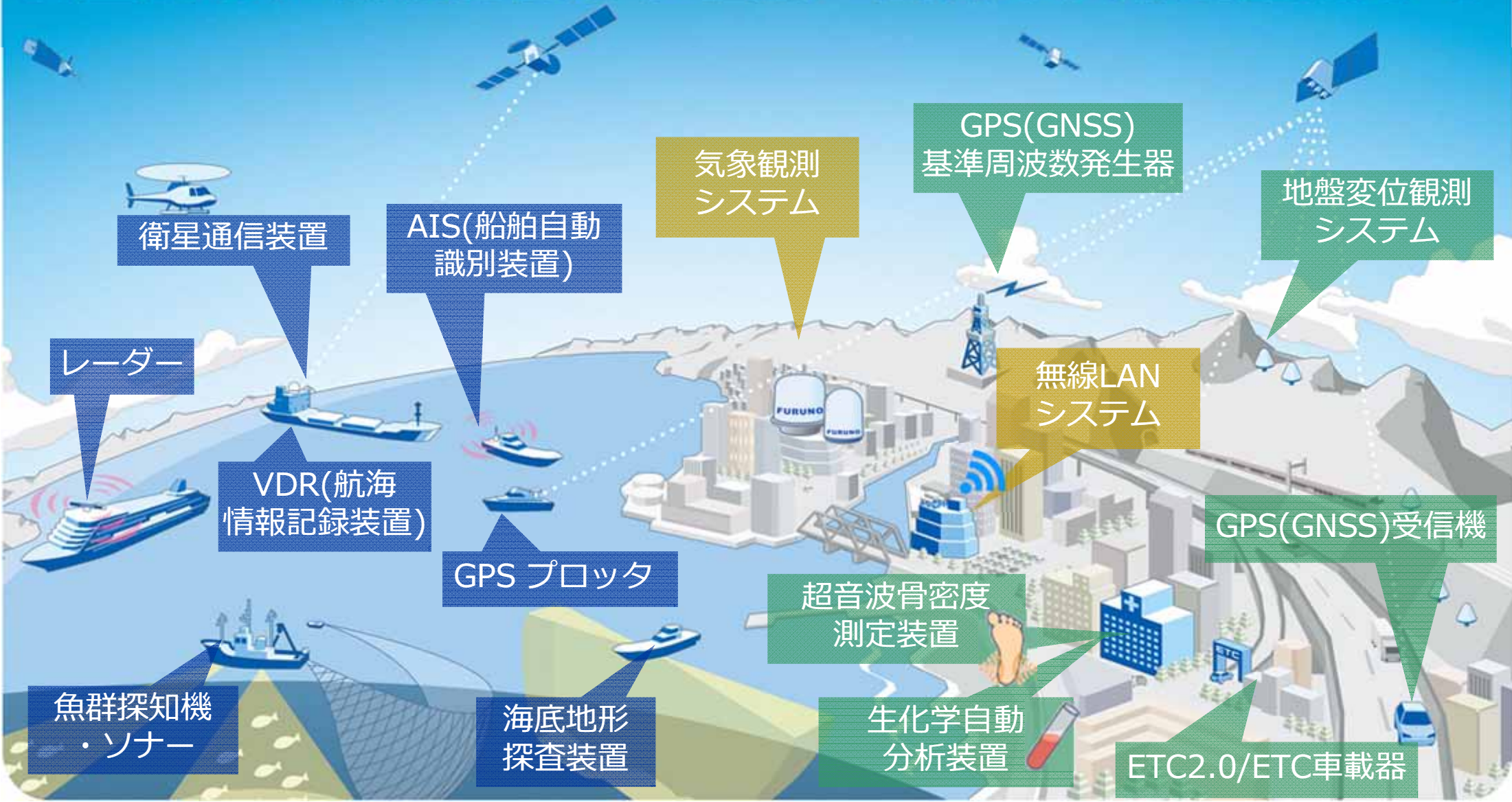
<b>社名</b>	古野電気株式会社
<b>本社所在地</b>	兵庫県西宮市
<b>設立</b>	1951年 (昭和26年)
<b>事業内容</b>	船用電子機器および産業用電子機器などの製造・販売
<b>資本金</b>	7,534 百万円
<b>代表者</b>	古野 幸男
<b>上場取引所</b>	東京証券取引所市場第一部 (証券コード：6814)

I R情報サイト⇒ <http://www.furuno.co.jp/ir/>

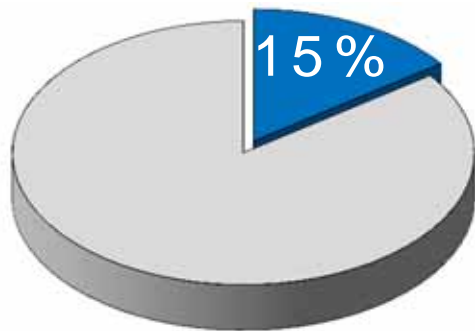
製品情報サイト⇒ <http://www.furuno.com/>

企業ブランドサイト⇒ <http://www.furuno.com/special/jp/corporatemovie/>

## 安全安心、環境に優しい社会・航海の実現を目指して

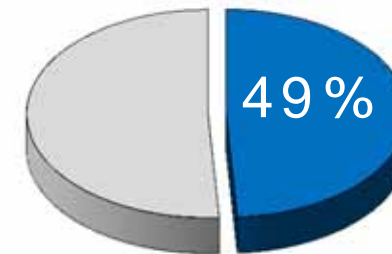


## 商船向け



市場規模 1,900億円

## 漁業向け



市場規模 500億円

## 総合船用電子機器メーカーとして、世界シェアトップ

(世界市場4,200億円のうち、シェア15%占める)

※ 市場規模は2017年の各社売上データに基づく当社推定による試算値